



「頑張る宮高生を応援する！」進路情報誌

ADELANTE -前進-

第 22 号

平成 30 年 5 月 13 日 (日) 発行

発行：宮古高校進路指導部

「公益財団法人久米国鼎会奨学生」

く め こくていかい

給付型

校内申込み

5月18日(金)まで

対 象：3 学年

給 付 額：年間 15 万円（奨学生本人名義の普通預金口座に 2 回に分けて振り込む。）
（給付は 1 年間とする。）

募集人数：宮古高校から 2 名推薦

応募資格：(1) 学業及び人物が優良であること。

（内申書の成績が平均 3.5 以上であること。）

(2) 経済的支援が必要であると認められるもの。

（世帯主の年収が 500 万円以下であること。）

(3) 高校 3 年次の学生で、他の給付型奨学金を受けていないこと。ただし、貸与型奨学金との併用は認める。

提出書類：①奨学生願書、②奨学生身上書、③学校長推薦書、④成績証明書、⑤特別住民票謄本（本籍、続柄の記載、申請前 3 ヶ月内に発行）、⑥所得証明書（同一世帯の所得証明書）、⑦奨学金振込口座届

選考方針：校内の選考は、一定の学力基準を満たし、かつ経済的に困窮する生徒を優先する。

校内締切が早いのは、生徒、担任の先生方が用意する書類が多いため、締切を早めています。

校内締切を待たずに、家庭で相談して、奨学金担当まで申込みに来てください。

「新聞奨学金」について紹介

詳しくは、進路室前の奨学金掲示板を見てください。

進学で、県外大学を考えているものの経済的に厳しい状況の生徒に向けての情報です。

「新聞奨学金」という奨学金を知っていますか？新聞奨学金は、大手新聞会社に住み込みで働きつつ、給与と奨学金の支給を受ける奨学金です。「働きながら学ぶ」ことができるため、自分の力で大学を卒業することができます。ただし、朝刊配達や夕刊配達、集金など、しっかりと「仕事をする」必要があります。早朝 3 時頃から始まる仕事と学業の両立は、大きな苦勞を伴います。絶対にやり遂げる自信と覚悟がある人は考えても良いかもしれません。

「親子で考える奨学金講演会」

後日、案内と参加申込用紙を配布します。

対 象：3 学年生徒・保護者（最大 80 名）

（座席に空きがあれば、1・2 年生の保護者も可能です）

日 時：5 月 29 日 (火) 18:00～ 視聴覚教室にて

概 要：全国各地で奨学金ガイダンスをおこなっている**奨学金アドバイザーの久米忠史さん**による奨学金講演会です。奨学金に関する基本的なしくみから、注意すべき点など分かりやすく説明してくれます。

